

2023年4月16日 LINEメッセージ 日本キリスト兄弟団 新下関教会

<http://olive.lovepop.jp/LINEsound/2023/20230416.mp3>

廣川和行牧師 ヨハネの福音書 13章 31節～35節

「互いに愛し合いなさい」

9分47秒

13:31 ユダが出て行ったとき、イエスは言われた。「今、人の子は栄光を受け、神も人の子によって栄光をお受けになりました。

13:32 神が、人の子によって栄光をお受けになったのなら、神も、ご自分で人の子に栄光を与えてくださいます。しかも、すぐに与えてくださいます。

13:33 子どもたちよ、わたしはもう少しの間あなたがたとともにいます。あなたがたはわたしを捜すことになります。ユダヤ人たちに言ったように、今あなたがたにも言います。わたしが行くところに、あなたがたは来ることができません。

13:34 わたしはあなたがたに新しい戒めを与えます。互いに愛し合いなさい。わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合いなさい。

13:35 互いの間に愛があるなら、それによって、あなたがたがわたしの弟子であることを、すべての人が認めるようになります。」

おはようございます。

桜が散って、若葉が美しい季節になりました。

雨が降って、塵も洗い流されて、清々しい空気となっています。

皆さんはイースターの後、どのようにお過ごしでしたか？

今日のヨハネの福音書 13章 31節から 35節は、イエス様が十字架にかけられる前日の木曜日の夕食、最後の晩餐の時のことです。

イエス様を裏切ってユダヤ人指導者たちの所へ向かったイスカリオテのユダが外に出た後のことでした。

イエス様は弟子たちに向かって語ったのです。

今人の子は栄光を受け、

神も人の子によって栄光をお受けになりました。

神が人の子によって栄光をお受けになったのなら、

神もご自分で人の子に栄光を与えてくださいます。

しかもすぐに与えてくださいます。

この時イエス様の身には、与えられた使命に向かったの

出来事が起こりつつありました。

ユダがイエス様を裏切ってユダヤ人指導者たちのところへ行ったので、

イエス様を捕らえて殺す計画が動き始めたのです。

イエス様は、今私は栄光を受け、

天の父なる神様も私を通して栄光を受けられました、と言われました。

なぜこのようにイエス様は言われたのでしょうか？

それは天の父なる神様から遣わされた

イエス様のこの地上での使命が、

人々を愛し、仕え、すべての人の罪を贖って命を捧げることに

あったからです。

今まさにイエス様の地上での使命が完成する扉が開かれたのです。

イエス様は全人類の罪の贖いを成し遂げるために、

ご自分の命を捧げて十字架にかかれ、

3日後に死者の中からよみがえり、

栄光を受けられることになるのです。

イエス様は「子どもたちよ、わたしはもう少しの間あなたがたとともにいます。あなたがたはわたしを捜すことになります。ユダヤ人たちに言ったように、今あなたがたにも言います。わたしが行くところに、あなたがたは来ることができません。」と言われました。

13章37節で、「主よ、なぜ今ついて行けないのですか。あなたのためなら、いのちも捨てます。」と語っているペテロや弟子たちに対して、すべての人々の罪を贖う十字架の死への道は、たとえ弟子であっても、後を追って死んでついていくことはできないこと。罪のない神のひとり子であるイエス様だけが、人間の罪の償いを成し遂げることができるのだということを諭されたのです。

しかし、弟子たちはイエス様が語られた言葉の真意がわからず、戸惑っていました。

イエス様は「わたしはあなたがたに新しい戒めを与えます。互いに愛し合いなさい。わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合いなさい。互いの間に愛があるなら、それによって、あなたがたがわたしの弟子であることを、すべての人が認めるようになります。」と勧められました。

これまで3年余りイエス様と寝食を共にし、イエス様から教えを聞き、働きを見てきた弟子たちでしたが、これからはイエス様と離れて歩むことになるのです。

その弟子たちに対して、新しい戒めとしてこれからの生き方を、イエス様は愛を持って、慈しむ心で、弟子たちへ教えられたのです。イエス様が弟子たちを愛し、接して来られたように、お互いに愛し、関わっていくことが大切であることを語られたのです。

特にこの時、主であり先生であるイエス様が僕のように弟子たちの足を洗い、弟子たちに仕えられたように互いに愛し謙遜になって仕え合うようにすることを望まれたのです。イエス様の弟子のしるしは、互いに愛し合って歩むことであると、新しい戒めとして与えられたのです。

イエス様はまた、この新下関教会に集っている私たちが、イエス様の弟子として互いに愛し合って歩むように望まれ期待しておられます。

今年の教会のテーマ聖句は「キリストによって、からだ全体は、あらゆる節々を支えとして組み合わされ、つなぎ合わされ、それぞれの部分が、その分に応じて働くことにより成長して、愛のうちに建てられることとなります。」というエペソ人への手紙4章16節の言葉です。

イエス様を信じている私たちは一人で信仰生活を送っているではありません。一人一人がキリストの体の部分とされ、主イエス様にあって一つの神様の家族とされているのです。血のつながりの家族は多くの場合、互いのことに関心を持ち、気遣ったり助け合って歩むことでしょう。

主イエス様にあって導かれて家族とされている私たちは、相手の様子から、気遣ったり、気になったら声をかけてみませんか？人には話したくないということもあるでしょう。

そういう時はその人を神様が守って祝福してくださるようにと祈っていきましょう。

私たちは主にある兄弟姉妹として交わり、主の祝福にあずかる者として互いに祈り合ってまいりましょう。また自分一人で課題を抱え込まず、自分の直面する課題を分かち合って祈り合いませんか？自分の弱さを受け入れ合い、愛を持って祈り合える関係、痛みを分かち合う教会の群れとして、主にあって成長させていただきましょう。

ガラテヤ人の手紙 5章 22・23 節にこのように書かれています。

「御霊の実は、愛、喜び、平安、寛容、親切、
善意、誠実、柔和、自制です。」

そのようにイエス様を信じている私たちの内に住んでおられる
聖霊なる神様によって、
私たちは、愛の品性の実を結ばせていただくことができます。
私たちの周りにいる人たち、まだイエス様を知らない人たちに、
私たちが互いに愛し合って歩んでいる姿を通して、
イエス様は本当に生きておられる救い主であることを
証してまいりましょう。
今週の皆様の歩みが祝福されたものとなるようにお祈りをいたします。

お祈りいたします

天の父なる神様。

私たちを深く愛し慈しんでくださっているあなたの御名を褒め称えます。

先週一週間の私たちの歩みを守り導いてくださったことを

覚えて感謝いたします。

イエス様が私たちを愛してくださったように、

私たちもまた互いに愛し合い支え合って歩んでいきたいと

願っています。

今週の兄弟姉妹の歩みを豊かに祝福してください。

病を得ている方々を顧みて、健やかにしてください。

また試練の中にある方々を顧みて、励まし助けてください。

主イエス・キリストの恵みと、神の愛と、聖霊との親しき交わりが、

会衆一人一人の上に、今も後もとこしえまでも力強くあらんことを。

アーメン。

